

日本BS放送株式会社

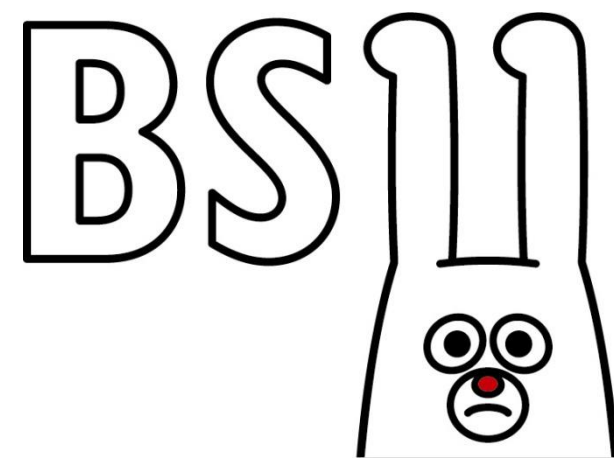
2018年8月期 決算補足説明資料

2018年10月5日



東証一部 コード: 9414

I 決算概況



2018年8月期 総括

売上高 **12,015百万円**（前期比 3.9%増）

営業利益 **2,416百万円**（前期比 8.5%増）

- 売上高は、重点施策の強化・推進により、前年を上回って推移
- 良質な自社制作番組と人気番組の購入により広告枠の付加価値向上
- 番組視聴世帯数増加を目的とした効果的且つ戦略的な広告宣伝の実施
- 営業利益は、効率的な原価・経費使用に努め、前年を上回って推移

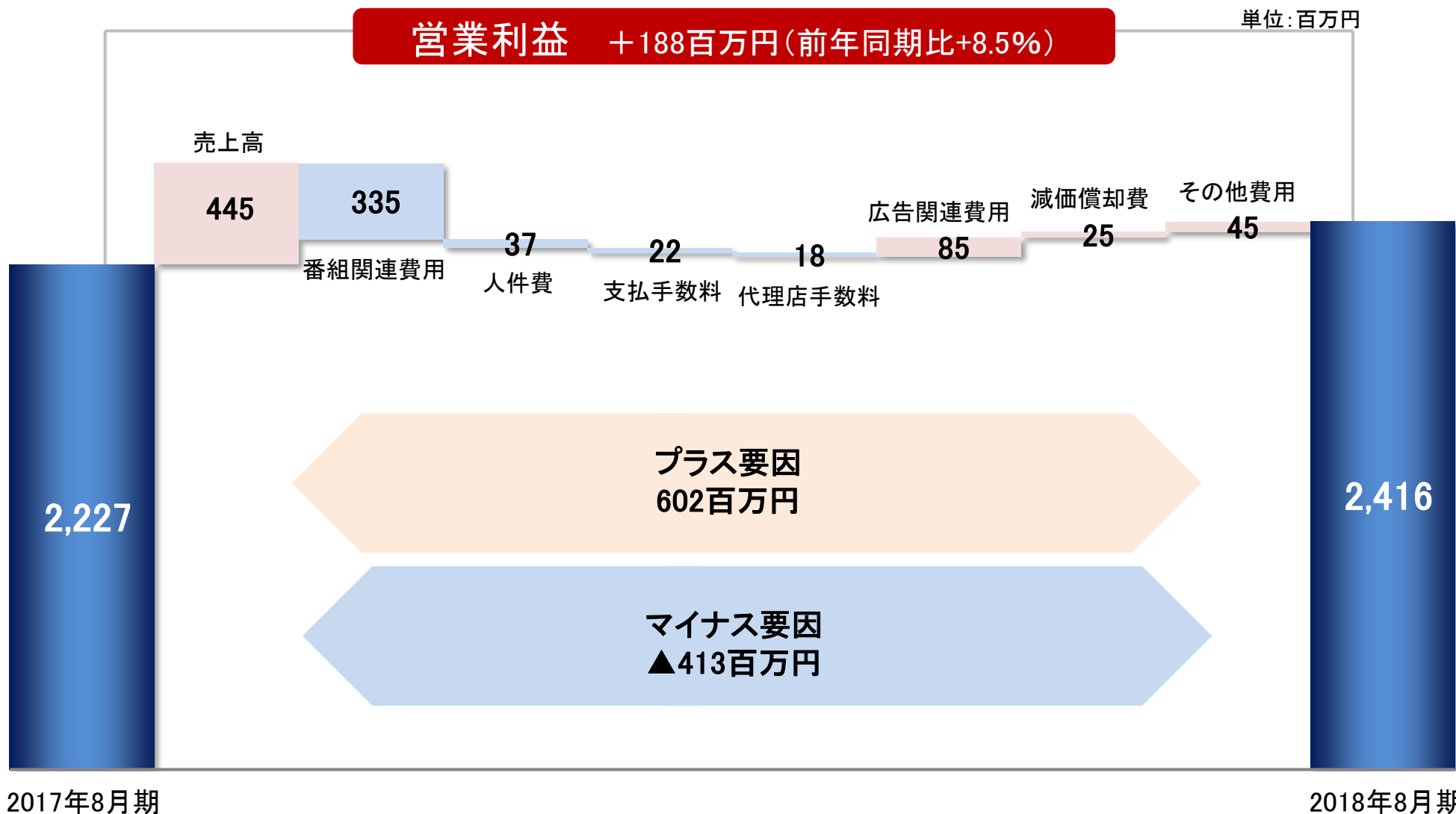
損益計算書の概要（個別）

(単位: 百万円、下段は構成比)

	2017年8月期	2018年8月期						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	11,569 (100.0%)	12,015 (100.0%)	+ 3.9%	+ 445	12,750 (100.0%)	▲ 5.8%	▲ 735	(売上高) ・タイム収入・・・▲ 319百万円 ・スポット収入・・・▲ 348百万円 ・その他収入・・・▲ 67百万円
売上総利益	6,241 (54.0%)	6,428 (53.5%)	+ 3.0%	+ 186	—	—	—	(段階利益) ・売上高計画未達ながら、経費効率化の徹底により利益計画を達成
営業利益	2,227 (19.3%)	2,416 (20.1%)	+ 8.5%	+ 188	2,230 (17.5%)	+ 8.4%	+ 186	《利益増加の具体的要因》 売上原価: ・良質な番組制作、人気番組の購入に伴う番組関連費用を効率的に使用
経常利益	2,231 (19.3%)	2,420 (20.1%)	+ 8.4%	+ 188	2,235 (17.5%)	+ 8.3%	+ 185	販売管理費: ・広告宣伝を効率的且つ効果的なタイミングを見極め実施 ・その他経費項目を効率的に使用
当期純利益	1,518 (13.1%)	1,670 (13.9%)	+ 10.0%	+ 152	1,540 (12.1%)	+ 8.5%	+ 130	

営業利益 +188百万円（前年同期比+8.5%）

単位：百万円



売上区分別実績（個別）

	2017年8月期	2018年8月期			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	11,569 (100.0%)	12,015 (100.0%)	+ 3.9%	12,750 (100.0%)	▲ 5.8%
タイム収入	8,541 (73.8%)	8,742 (72.8%)	+ 2.4%	9,062 (71.1%)	▲ 3.5%
スポット収入	2,755 (23.8%)	2,933 (24.4%)	+ 6.5%	3,282 (25.7%)	▲ 10.6%
その他	272 (2.4%)	338 (2.8%)	+ 24.3%	405 (3.2%)	▲ 16.6%

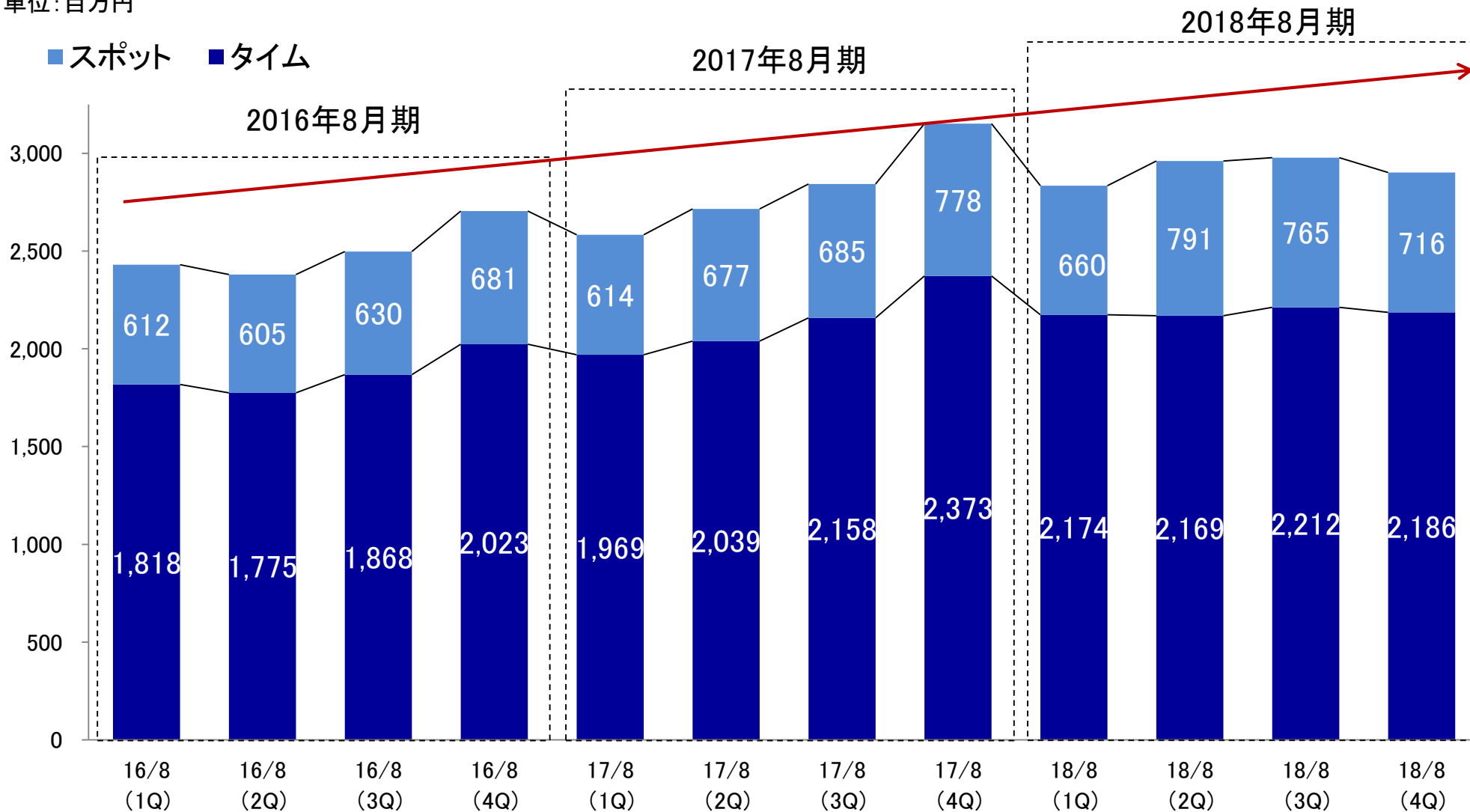
主な増減要因（前年同期比）

- タイム収入
 - ・良質な自社制作番組と戦略的且つ効果的な広告宣伝実施に伴い、番組提供枠販売が堅調に推移
 - ・通販枠販売が引き続き堅調に推移
- スポット収入
 - ・BS放送の媒体価値向上に伴い、スポット販売が堅調に推移
 - ・人気ドラマを効果的に編成することで、通販スポット販売が好調に推移
- その他
 - ・アニメ製作委員会への出資に伴う配当金収入等の増加

◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、堅調に増加トレンド

単位: 百万円

■ スポット ■ タイム



主要費用項目実績（個別）

（単位：百万円、下段は売上比）

		2017年8月期	2018年8月期		
			実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用（原価）		3,400 (29.4%)	3,736 (31.1%)	+9.9%	
	番組購入費	528 (4.6%)	652 (5.4%)	+23.5%	海外ドラマや映画などの人気作品購入による増加
	番組制作費	2,871 (24.8%)	3,083 (25.7%)	+7.4%	良質な番組制作に伴い、番組内容のより一層の充実による増加（キャスティングの強化等）
放送関連費用（原価）		630 (5.5%)	628 (5.2%)	▲0.4%	
	放送委託費	555 (4.8%)	555 (4.6%)	—	
	技術費	75 (0.6%)	72 (0.6%)	▲3.2%	
広告関連費用（販管費）		1,413 (12.2%)	1,327 (11.0%)	▲6.1%	
	広告宣伝費	1,330 (11.5%)	1,248 (10.4%)	▲6.2%	効果的なタイミングや媒体を見極め、積極的且つ効率的に費用を投下（新聞・チラシ・局宣伝等）
	販売促進費	82 (0.7%)	79 (0.7%)	▲4.3%	

貸借対照表（個別）

		2017年8月期末	2018年8月期		
			実績	増減額	主要な増減要因
	流動資産	10,252 (59.4%)	11,557 (62.4%)	+1,304	・現金及び預金の増加 +1,441百万円 ・売掛金の減少 ▲146百万円
	固定資産	7,002 (40.6%)	6,974 (37.6%)	▲28	
資産合計		17,255 (100.0%)	18,531 (100.0%)	+1,275	
	流動負債	1,694 (9.8%)	1,594 (8.6%)	▲99	・買掛金の増加 +40百万円 ・未払金の減少 ▲146百万円
	固定負債	65 (0.4%)	85 (0.5%)	+19	
負債合計		1,759 (10.2%)	1,680 (9.1%)	▲79	
純資産合計		15,496 (89.8%)	16,851 (90.9%)	+1,355	・利益剰余金の増加 +1,349百万円
負債・純資産合計		17,255 (100.0%)	18,531 (100.0%)	+1,275	

	2018年8月期				
	実績	前年同期比	計画	計画比	増減額
売上高	12,494 (100.0%)	—	13,000 (100.0%)	▲3.9%	▲505
売上総利益	6,666 (53.4%)	—	—	—	—
営業利益	2,427 (19.4%)	—	2,240 (17.2%)	+8.4%	+187
経常利益	2,425 (19.4%)	—	2,245 (17.3%)	+8.1%	+180
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,659 (13.3%)	—	1,545 (11.9%)	+7.4%	+114

※2017年8月期は、連結財務諸表を作成しておりませんので、前年同期比については記載しておりません。

連結貸借対照表／連結キャッシュ・フロー計算書の概要

連結貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

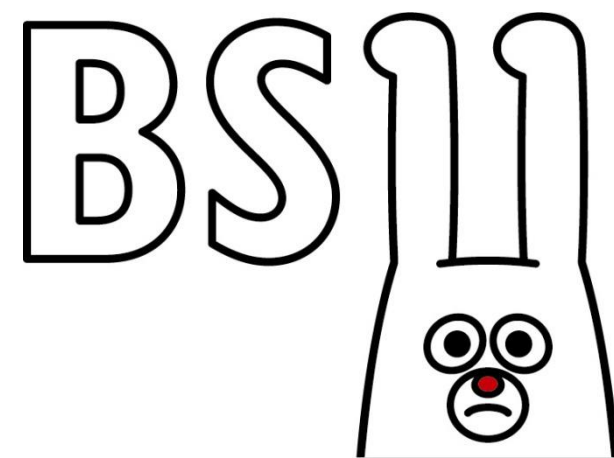
		2018年8月期
		実績
	流動資産	12,232 (63.7%)
	固定資産	6,975 (36.3%)
資産合計		19,208 (100.0%)
	流動負債	2,265 (11.8%)
	固定負債	103 (0.5%)
負債合計		2,368 (12.3%)
純資産合計		16,839 (87.7%)
負債・純資産合計		19,208 (100.0%)

連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2018年8月期
営業キャッシュ・フロー	2,049
税引前当期純利益	2,425
減価償却費	197
売上債権の増減額(▲は増加)	46
仕入債務の増減額(▲は減少)	34
未払費用の増減額(▲は減少)	2
法人税等の支払額	▲745
投資キャッシュ・フロー	▲149
有形固定資産の取得による支出	▲267
財務キャッシュ・フロー	▲327
配当金の支払額	▲320
現金及び現金同等物の増減額	1,573
現金及び現金同等物の期首残高	8,031
現金及び現金同等物の期末残高	9,604

Ⅱ 通期計画



売上高は**14,000**百万円（前期比12.1%増）、営業利益は**2,005**百万円（前期比17.4%減）、
親会社株主に帰属する当期純利益は**1,400**百万円を計画（前期比15.6%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

	2018年8月期		2019年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	5,955 (100.0%)	12,494 (100.0%)	6,600 (100.0%)	—	14,000 (100.0%)	+12.1%	+1,505
営業利益	1,577 (26.5%)	2,427 (19.4%)	800 (12.1%)	—	2,005 (14.3%)	▲17.4%	▲422
経常利益	1,578 (26.5%)	2,425 (19.4%)	800 (12.1%)	—	2,005 (14.3%)	▲17.3%	▲420
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,069 (18.0%)	1,659 (13.3%)	550 (8.3%)	—	1,400 (10.0%)	▲15.6%	▲259

※2018年8月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2019年8月期第2四半期累計の前年同期比は記載しておりません。

売上高は**13,500**百万円（前期比12.4%増）、営業利益は**2,000**百万円（前期比17.2%減）、
当期純利益は**1,400**百万円を計画（前期比16.2%減）

（単位：百万円、下段は構成比）

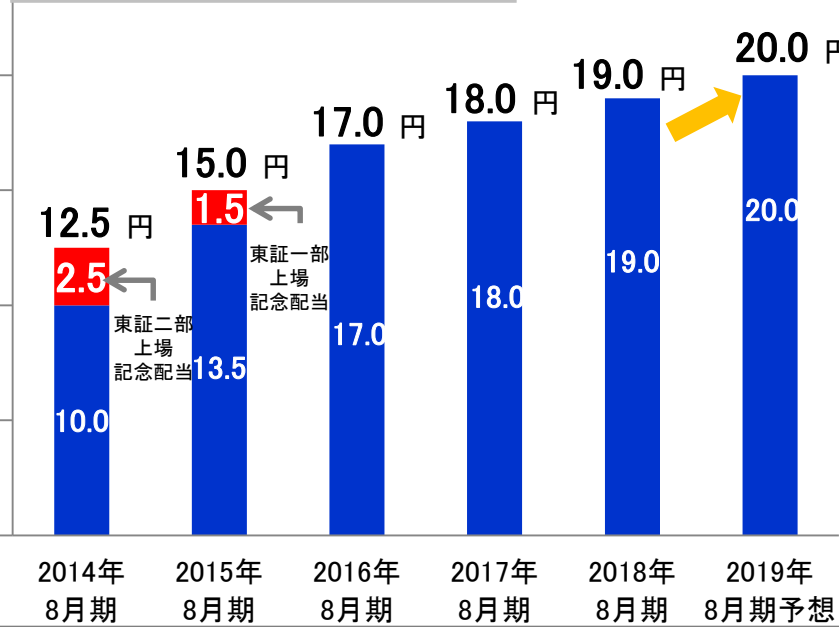
		2018年8月期		2019年8月期				
		第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
				計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高		5,955 (100.0%)	12,015 (100.0%)	6,350 (100.0%)	+6.6%	13,500 (100.0%)	+12.4%	+1,484
	タイム収入	4,344 (72.9%)	8,742 (72.8%)	4,545 (71.6%)	+4.6%	9,621 (71.3%)	+10.1%	+878
	スポット収入	1,451 (24.4%)	2,933 (24.4%)	1,576 (24.8%)	+8.6%	3,307 (24.5%)	+12.7%	+373
	その他	159 (2.7%)	338 (2.8%)	229 (3.6%)	+43.2%	571 (4.2%)	+68.8%	+232
営業利益		1,606 (27.0%)	2,416 (20.1%)	835 (13.1%)	▲48.0%	2,000 (14.8%)	▲17.2%	▲416
経常利益		1,607 (27.0%)	2,420 (20.1%)	835 (13.1%)	▲48.0%	2,000 (14.8%)	▲17.4%	▲420
当期純利益		1,100 (18.5%)	1,670 (13.9%)	580 (9.1%)	▲47.3%	1,400 (10.4%)	▲16.2%	▲270

期末配当金を1円増配、20.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した**利益配当を**継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金



	2015年 8月期	2016年 8月期	2017年 8月期	2018年 8月期	2019年 8月期 (予想)
年間配当	15.0 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円
普通配当	13.5 円	17.0 円	18.0 円	19.0 円	20.0円
記念配当	1.5 円	0 円	0 円	0 円	0円
1株当たり 当期純利益	68.34 円	82.04 円	85.27 円	86.50 円	78.64円

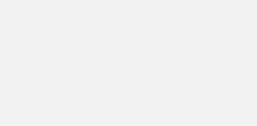
(注) 1. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。

株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

持続的成長に必要な『4つの“力”』

企画“力”

プロデュース“力”

キャスティング“力”

マーケティング“力”

企画 力 Planning	視聴者やクライアントのニーズを捉え、的確な企画立案
キャスティング 力 Casting	映像の「商品価値」を高めるスタッフ・出演者のキャスティング
マーケティング 力 Marketing	データベースを用いて潜在的な需要を喚起し効果的に戦略実行
プロデュース 力 Produce	皆様の役に立つ、質の高い情報・番組を提供・制作

重点施策としての『5本の矢』



1. 自社制作番組の充実と拡大

- ・ 人気番組に集中して資源を投下
- ・ 番組を「作品」から「商品」へと昇華



2. 情報番組の選択と拡大

- ・ プレミアエイジへのホスピタリティの強化
- ・ イベント等番組連動企画の立ち上げ



3. アニメ番組の強化

- ・ 得意分野の更なる強化
- ・ 目指すのは「アニメといえばBS11」



4. ローカル局とのコラボ

- ・ 独立ローカル局の強みを生かした差別化施策
- ・ 日本各地の「いいもの」を全国へ発信



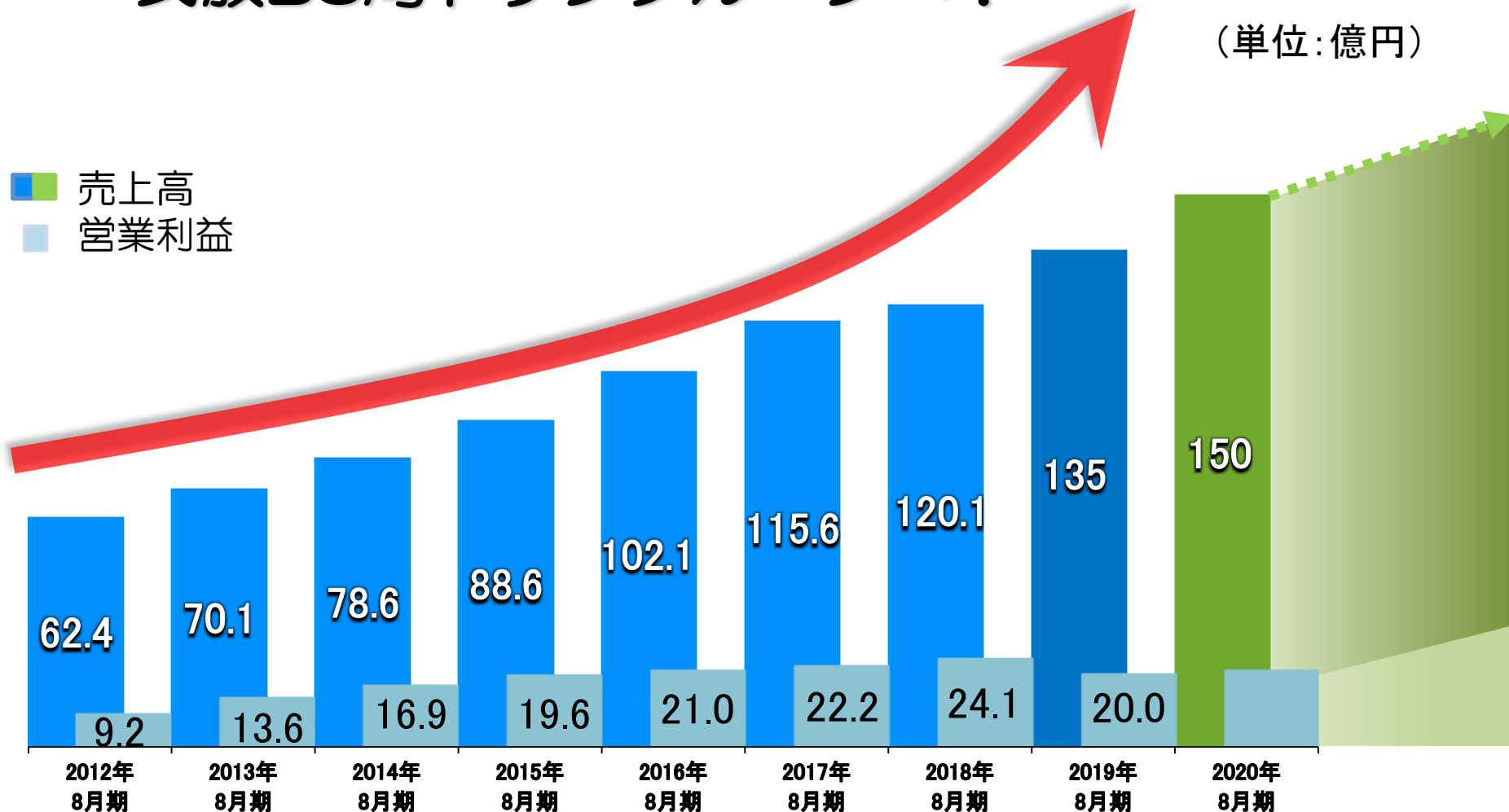
5. スポーツコンテンツの充実

- ・ 新たなニーズの発掘
- ・ 「BS11ならではの」コンテンツ作り

2020年 売上150億円必達！ ～民放BS局トップグループへ！～

（単位：億円）

■ 売上高
■ 営業利益



人気番組



毎週月曜 23:00～



毎週水曜 18:59～



毎週木曜 18:59～



毎週金曜 18:59～



毎週金曜 22:00～



毎週日曜 22:00～

➤ 視聴者の皆様のニーズを捉え、様々なジャンルにおいて番組内容を更に充実！



アニメ番組の強化

◆製作委員会出資作品(2018年6月～2018年8月)



©水上悟志・BNA・JC／Planet With Project



© Project SIRIUS／「天狼 Sirius the Jaeger」製作委員会



©ミウラタダヒロ／集英社・ゆらぎ荘の幽奈さん製作委員会



©2018 濱田浩輔・講談社／「はねバド!」製作委員会

➤ 当期製作委員会に出資した**4**タイトルを含め、およそ**40**タイトルのアニメ番組を毎週放送！



ローカル局とのコラボ

◆KBS京都・びわ湖放送と共同製作



スポーツコンテンツの充実

◆2020年に向けて



➤ ローカル局とのコラボレーションを積極的に実施 ➤ BS11ならではの豊富なコンテンツをお届け

特別番組

◆開局11周年特別番組



ナビゲーター：南こうせつ



➤ 特別番組も積極的に放送、視聴者の皆様から好評を頂きました

BS11 オンデマンド配信

◆見逃した方へ



ニュース・経済、エンターテインメント、スポーツ様々なジャンルに加え、BS11エンタメトピックスを無料で配信。

➤ 認知向上及びリアル視聴獲得！

イベントへの出展・実施

・AnimeJapan2018

・東京モーターサイクルショー

・BS11 AnimeSHOP



来場者15万人を超える大規模イベントへの出展。
BS11オリジナル商品の制作・販売など。

➤ 番組の魅力を強力に訴求、今後の収益柱へ

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

